

問題【社会】

日本地理の北海道に関する問題です。次の問いに答えなさい。

- (1) 明治時代に北海道の開拓のために設置された役所を何というか。
- (2) 北海道の東部に位置し、酪農が盛んな台地はどこか。
- (3) 北海道の南部に位置し、江戸時代に日米修好通商条約で開港した町は？
- (4) 土壌改良のため、他の土地から土を持ってきて、入れ替えることを何というか。
- (5) 土地の栄養を落とさないために、年や時期ごとに異なる作物を順番に栽培することを何というか。
- (6) 北海道は三つの海に囲まれている。日本海と太平洋とあと一つはどこか。

豆知識 雑学コラム

農業も「でっかいどう」

北海道は日本の面積の約20%を占めており、日本で一番広い都道府県です。そして、その壮大な自然をいかして、観光業が盛んです。北海道の気候は冷帯に属し、内陸部では冬にダイヤモンドダストという珍しい現象も見られるくらい、気温が低くなります。今年は、新型コロナの影響でリモート開催したそうですが、「さっぽろ雪まつり」は北海道を代表する冬のイベントです。スキーや知床半島の流氷見物のため、多くの人が北海道を訪れます。まさに、冬を前面に押し出して、観光業を盛り上げています。

そして、広大な土地をいかして、農業も盛んです。農家1戸あたりの耕地面積は約28haあり、全国平均（2.2ha）の約13倍です。

北海道が生産量1位を占める農産物は、タマネギ、ジャガイモ（馬鈴薯）、ニンジン、大根、トウモロコシ（スイートコーン）、カボチャなどがあります。

「鬼が馬に乗って、大きなトウモロコシを買っちゃった」。鬼はオニオン（タマネギ）のことです。

乳牛の飼育頭数は日本全体の約60%を占め、これはダントツの日本1位です。牛乳は「飲用」とチーズやバターとして利用する「加工用」に分かれます。北海道は「加工用」が多いのですが、それはなぜでしょうか。理由は「消費地まで遠いから」です。特に大消費地である東京や大阪、中京圏まで運ぼうとすると、距離があり、悪くなってしまう恐れがあります。そのため、加工してから出荷しています。都市部周辺で見られる「近郊農業」とは違いますね。

【解答】

- 銀メダル (9) 銅メダル (5) 干杯 (7)
銀牌 (8) 銅牌 (2) 銀杯 (1)